



## 韓国は中国からの観光客で溢れている

最近、中国から多くの観光客が韓国を訪れています。少し前までは、韓国人が歩いたら、店員から日本語で声をかけられた明洞は、中国語で声をかけられるようになりました。まるで、中国に旅行しているような気分になるくらいです。

先日の10月1日の国慶節（中国の建国記念日）から始まる約1週間の大型連休には、16万人の中国人が韓国を訪問し、2013年の同じ時期より38パーセントも中国からの観光客が増加し、4000億ウォンを消費したそうです。

国慶節の連休初日にあたる10月1日から、それまでの倍に上昇した対中国人観光客の売上は、週末まで波及力を引き継ぎました。ソウル市小公洞のロッテデパート本店では、中国で広く通用している銀聯（Union Pay）カードの使用額が昨年10月2～5日より79.6%増えたそうです。

さらに、中国人が旅行したい国のランキングを調べたアンケートによると、一位の香港、二位のタイに続き、韓国が三位を記録しているので、今後も中国観光客が韓国に殺到すると予測されます。

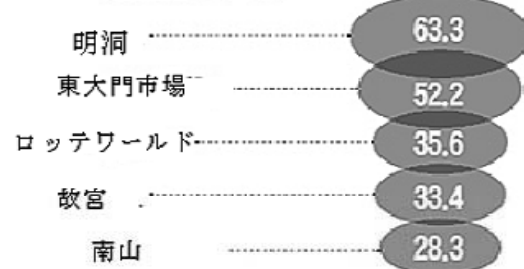
観光客の消費が増えることによる経済的効果を考えたら、もちろん良いことですが、それにとまなう影響も問題として指摘されています。たとえば、国慶節連休の期間中、ソウルの主要観光地は、中国からの団体観光客を乗せた観光バスが駐車場に止めきれず、道路を占有し、交通渋滞が起こったそうです。道路と人とバスがごちゃ混ぜになった写真が新聞に載せられていました。

国慶節期間訪韓中国人観光客



中国観光客が一番多く訪ねた場所

複数応答、単位%



よって、韓国人や韓国に住む人は、外出するとき、韓国の祝日に加えて中国の祝日も考慮しないといけなくなり、国内旅行をあきらめたり、伸ばしたりする状況に置かれるようになりました。

また、中国からの観光客の多くは、一人当たりショッピングで消費するお金も多く、棚の商品をさして「ここからあそこまで」、「いまある在庫全部」というまとめ買いをするので、観光客以外の消費者が無視されがちです。（その影響なのか、地元の人たちのショッピングの場所は、旅行客が少ないところに移っています）。

また、興味深いことに、ある統計によれば、中国からの韓国への旅行者の不満一位は「意思疎通の問題」でしたが、日本からの韓国への旅行者の不満の一位が「買い物を押し付けられる」ことでした。

多分、もともと日本より押しが強い韓国人ですが、中国人旅行者の買いぶりになれてしまって、日本の旅行者にもさらに強く買い物を求めるようになったためではないでしょうか。

ショッピング以外にも、ひそかに利益を上げている分野が整形手術目的の観光です。

韓流ブームが東南アジアに広がり、コンテンツ産業が成功をおさめるにつれて、整形目的の旅行者も急増しているそうです。もちろん日本からの整形目的の旅行者も実際に存在しますが、まだ整形に対する抵抗感がある日本の文化上、整形手術のための旅行は少数で密に行われているそうです。

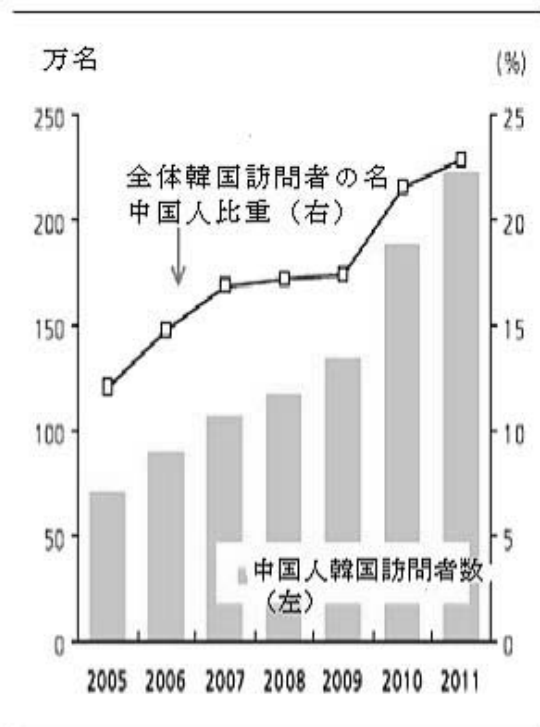
一方、中国からの旅行者は違うようです。整形目的の団体観光客として韓国に入ってきて、整形外科と連携したホテルに泊まり、手術後あまり時間が経っていなくても、包帯や絆創膏姿でレストランにて食事をし、ショッピングを楽しむそうです。この分野はこれからも伸びると思います。

以前、ある番組で、世界で有名な観光地であるヴェネツィアの地元住民が、溢れる観光客で平穏な日常生活を過ごせないと不満を言っていたことを思い出します。

観光客による消費効果を得る代償として、なにかをあきらめないといけないということでしょうか。バランスの問題でしょうか。個人的には、目の前の中国からの観光客マネーに気を取られ、地元国民の生活と中国以外の観光客に対する配慮が手薄くなる恐れを懸念するべきではないかと思っています。

さて、日本でも中国などの富裕層のマネーを狙い、カジノを含む総合リゾート計画を推進中であると聞いております。教育環境、治安問題、地元国民のギャンブル依存症などの問題点を聞きながら、経済政策と、国民の生活の質とのバランスについて、考え込んでまいります。

韓国訪問中国観光客推移



資料：韓国観光公社

### 筆者紹介

朴沼泳 (ばく・そよん)

2001年38回韓国弁理士試験合格、2013年日本弁理士試験合格。現在は新樹グローバル・アイピー特許業務法人の顧問を務める。ソウル生まれ、2003年から現在まで日本在住。

韓国の中央大学の政治外交学科および大阪工業大学の電子情報通信学科を卒業。趣味はダンス、好きな食べ物はチラシ寿司、キムチチゲ。好きな言葉は「修身齊家治國平天下」。